

[フェンプロパトリンエアゾル]

農林水産省登録 第23780号

性 状: 無色透明液体

毒 性: 普通物

危険物: 第4類第2石油類 III

有効年限: 満4年

包 装: 480 ml×30本

# ロビンフッド®

有効成分: フェンプロパトリン ……0.020%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

## [適用と使用方法]

作物名	適用害虫名	使用時期*	総使用回数*	使用方法
果樹類 (かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、すもも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちよう (種子)、くり、ペカン、アーモンド、くるみ、食用つばき (種子) を除く)	カミキリムシ類	前日	5回	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射
かんきつ			本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 9回 (#1)	
りんご	ヒメボクトウ カミキリムシ類		本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 7回 (#2)	
びわ	カミキリムシ類		本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 9回 (#1)	
すもも	カミキリムシ類		5回	
もも	カミキリムシ類 コスカシバ		本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 10回 (#3)	
うめ	カミキリムシ類		本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 8回 (#4)	
おうとう			本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 7回 (#2)	
ぶどう	クビアカスカシバ カミキリムシ類 コウモリガ		本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 7回 (#2)	
かき	カミキリムシ類		本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 8回 (#4)	
マンゴー		本 剤: 5回 フェンプロパトリン: 7回 (#2)		
花き類・観葉植物	アブラムシ類	-	6回	噴射
樹木類	ケムシ類 アブラムシ類			樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射
	カミキリムシ類			
ばら	ゴマダラカミキリ			

- #1: 噴射は5回、散布及びくん煙は合計4回
- #2: 噴射は5回、散布は2回
- #3: 噴射は5回、散布は5回
- #4: 噴射は5回、散布は3回

## 効果・薬害等の注意

- ヒメボクトウ、カミキリムシ類に使用する場合、以下の点に注意する。
  - 幼虫の食入が進むと効果が劣る場合があるので、食入初期に使用する。
  - 適用害虫の食入孔にノズルを差し込み、薬剤が食入孔から逆流するまで噴射する。
  - 逆流した薬液が果実や葉にかからないように注意する。
- 樹木類のケムシ類、アブラムシ類および花き類・観葉植物に使用する場合、植物体への近接噴射は冷害を生じるおそれがあるので、30 cm以上離れた所から1～3秒間ずつ断続して茎葉が濡れる程度に噴射する。特に新芽、新葉、蕾、花卉には十分注意する。
- 日中高温時、強風時、降雨前の使用はさける。
- ぼけには薬害を生じるおそれがあるので、使用はさける。
- 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に噴射液がかかると変色するおそれがあるので、噴射液がかからないよう注意する。
- 使用後の空缶は戶外でボタンを押してガスを出きったことを確認してから捨てる。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、普及指導センター、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意

- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
  - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 眼に入らないよう注意する。
  - 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。（刺激性）
- のど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意する。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 取扱いは注意する。
- 人に向かって噴射しない。
- 危険物第4類第2石油類に属するので火気に十分注意する。
- 高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守る。
  - 炎や火気の近くで使用しない。
  - 火気を使用している室内で大量に使用しない。

(2020年2月12日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト: [i 農力 https://www.i-nouryoku.com/](https://www.i-nouryoku.com/)

- 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かない。
- 火の中に入れない。
- 使い切って捨てる。
- 火気や直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない低温で乾燥した場所に保管。

### 〔品目特性〕

- ヒメボクトウやカミキリムシ類を省力防除
- いつでもどこでも防除できるハンディタイプ  
携帯性に優れているので、管理作業の合間でも気軽に防除できます。  
また、害虫に応じてノズル式と噴射式が切り替え可能な2ウェイノズルを採用しました。
- 接触毒で高い殺虫効果  
接触毒性に優れているので、食入孔に潜む害虫に高い効果を発揮します。  
また、ヒメボクトウではフラッシングアウト（追い出し効果）が認められることもあり、食入孔から出てきた害虫は死に至ります。
- 低温時でも効果が安定  
春、秋などの低温時においても、安定した効果をもたらします。